



# DOCOMO TEAM DANDELION RACING

## Team Release

### 決勝レポート

#### 2020/12/6 Rd-6 鈴鹿サーキット

天候：晴れ 気温：15°C 出走台数：20台

観客数：5日(土)8,000人 6日(日)12,500人 合計20,500人

2020年後半戦も山場となる鈴鹿サーキット2連戦。第6戦 鈴鹿サーキット決勝は、昨日に続き、12月としては比較的暖かな快晴の下でスタートの時を迎えた。

2周のフォーメーションラップを終えて迎えたスタート。抜群の蹴りだしを見せた福住選手は、3番グリッドの山本選手を押さえ3位で1コーナーへ。福住3番手、山本4番手でオープニングラップを周回。だが、その翌周2周目のシケインで早くもクラッシュ発生。セーフティーカーが導入される。そのセーフティーカーラン中の5周目、山本選手から突然のギアボックストラブルの無線がチームに入る。チームは、トラブルを解消すべくセーフティーカーラン中の山本選手に様々な指示をするが、どの対処も功を奏さず、ピットに向かうとそのままリタイアとなってしまった。

6周目にリスタートするが、8周目の1コーナーでエンジントラブル車両がストップ、同タイミングでリアタイヤバースト車両もあり、再びセーフティーカー導入となる。

セーフティーカーラン中の10周目、ピットストップウインドウが開くとすぐに、チームは福住選手を呼びタイヤ交換を済ませるが、ピットでの逆転はなく実質の2位でコースへ復帰した。トラブル車両の回収が終わり、12周目にリスタート。福住選手はトップを走る大湯選手に何度も仕掛けるが攻略には至らない。19周目にはS字コーナーでスピinn車両があり三度のセーフティーカー導入。23周目にリスタートされると、残り7周、オーバーテイクシステムを使った攻めを最後まで続けるも、わずか0.462秒差の2位でレースを終えた。

#### 5：山本選手 リタイア

スタートでは福住選手に先行を許してしまいましたが、マシンの調子は良かったのでタイヤをケアしながらチャンスを伺っていました。そんな矢先にトラブルが出てまいりタイアとなったのは、ドライバーそしてチームタイトルを考えるうえでとても残念です。

ドライバーポイントは同点で、チームポイントも僅差で迎える最終戦、両タイトルをかけて臨む1戦として、チーム一丸となって昨年のリベンジを果たします。

#### 6：福住選手 2位

これまで多くのチャンスがありましたがあくまでも、中々上手くかみ合はず、ようやく2位表彰台で終えることが出来て、やっと自分の実力を出せたかなと思います。山本選手がリタイアと聞いたときは、チームタイトルのためにも絶対に優勝したいとさらに強く思いました。オーバーテイクシステムを上手く使って攻めて走りましたが、わずかなチャンスを活かしきれなかったことが悔しいです。2年連続チームタイトルに向けて、自身の初優勝に向けて、最終戦をしっかりと戦いたいです。